



2022年も年始からCOVID-19との闘いが続く

昨年の2月号コーディネーターニュースに「新型コロナウイルス感染拡大が第3波！緊急事態宣言」と題して書かせていただきましたが、1年経ってまたもや、日本では第6波がオミクロン株によってもたらされ、年末から20歳・30歳台を中心に急激に感染者が増え始め各地で「まん延防止等重点措置」を検討しております。

これから3～4週間後に高齢者にも感染者が広がり医療ひっ迫状況に追い込まれていくのではと危惧されます。メルクの飲み薬が出て、2月にはファイザーの飲み薬が適用されると治療に明るい兆しがありますが、高齢者の方々に3回目のワクチン接種が終わるのには数か月、4月乃至5月までかかるでしょうから油断せず、感染予防対策を万全にいたしましょう。

2022年7月からローターアクトクラブ会員が人頭分担金を納入することになっております。人頭分担金の件、地区の委員会にローターアクトの参加、またロータリー財団への寄付、補助金の使用など、多くの事をロータリアンとローターアクトとが交流できる機会を今まで以上に増やし話し合っ上りて上記の内容の方向付けが急がれます。もうしっかり方向付けが済んでいる地区・クラブも多いのですが、国際ロータリーの会員はロータリークラブとローターアクトクラブであるという事に変わったことをロータリアンとローターアクトがしっかり捉えてそれぞれの立場でロータリー活動していく事が大切でしょう。

もう一点の話題として (以下My ROTARYより)

ロータリーは、すべての人と尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳が傾けられるようにし、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会を設けることに力を注いでいます。ロータリーの会員は、ロータリーが多様で、公平で、インクルーシブな組織となることを望み、またそうあるべきであると考えています。ロータリーは、開放的なコミュニケーションを育み、学びあい、支えあうことのできる環境を作りだすことに全力を傾けています。国によってロータリーでの体験は異なるかもしれませんが、不平等や偏見を生み出す力関係、歴史、構造は世界中に存在します。多様性、公平さ、インクルージョンは、世界的に重要な問題です。

国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、多様性、公平さ、インクルージョンの原則を採用し、ロータリーはあらゆる言動においてこれらの原則に従うための行動を起こしています。多様で、公平で、インクルーシブな組織となることで、ロータリーでの会員の体験がより充実したものとなり、より有意義で効果的な奉仕プロジェクトの実施が可能となり、ロータリーに参加したいと望む人たちにとって魅力のある開放的・歓迎的な環境を築くことにつながります。

My ROTARYにあるこのDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)を各クラブの中で会員同士がどのような言動が適切かを話し合いそして行動に移していきましょう。

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 松坂 順一(東京葛飾東RC)

オミクロン株が日本中にまん延している中、ロータリー活動にも支障が出ていますが、ロータリアンの皆様には大変な日々が続いておられることとお察しいたします。我が2760地区でも公共イメージ向上に最善手段であるWFF(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)を4月に予定しておりますが、開催できるか心配しております。

そんな中で、2760地区では一般の皆様にもロータリー活動を知っていただく手段として「国際ロータリー第2760地区の活動」と題して小冊子を発行いたしました。この冊子は地区84クラブの活動や地区委員会の活動を一般の方に紹介するために公共イメージ向上委員会が主となり発行し、各方面にも配りました。この活動はどこの地区でも行っている活動ではあるかと思いますが、公共イメージ向上委員会が中心となり、実施することに意味があり、是非各地区においても行っていただきたいと考えています。冊子の内容についてご質問等ございましたら、2760地区の事務局までお問い合わせいただければと存じます。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 加藤 陽一(瀬戸RC)